

仙台市成年後見サポート推進協議会 成年後見制度利用促進検討部会

報告書 概要

令和 2 年 7 月 2 日

仙台市健康福祉局社会課 作成

1 検討部会

構成（仙台市成年後見サポート推進協議会構成団体）

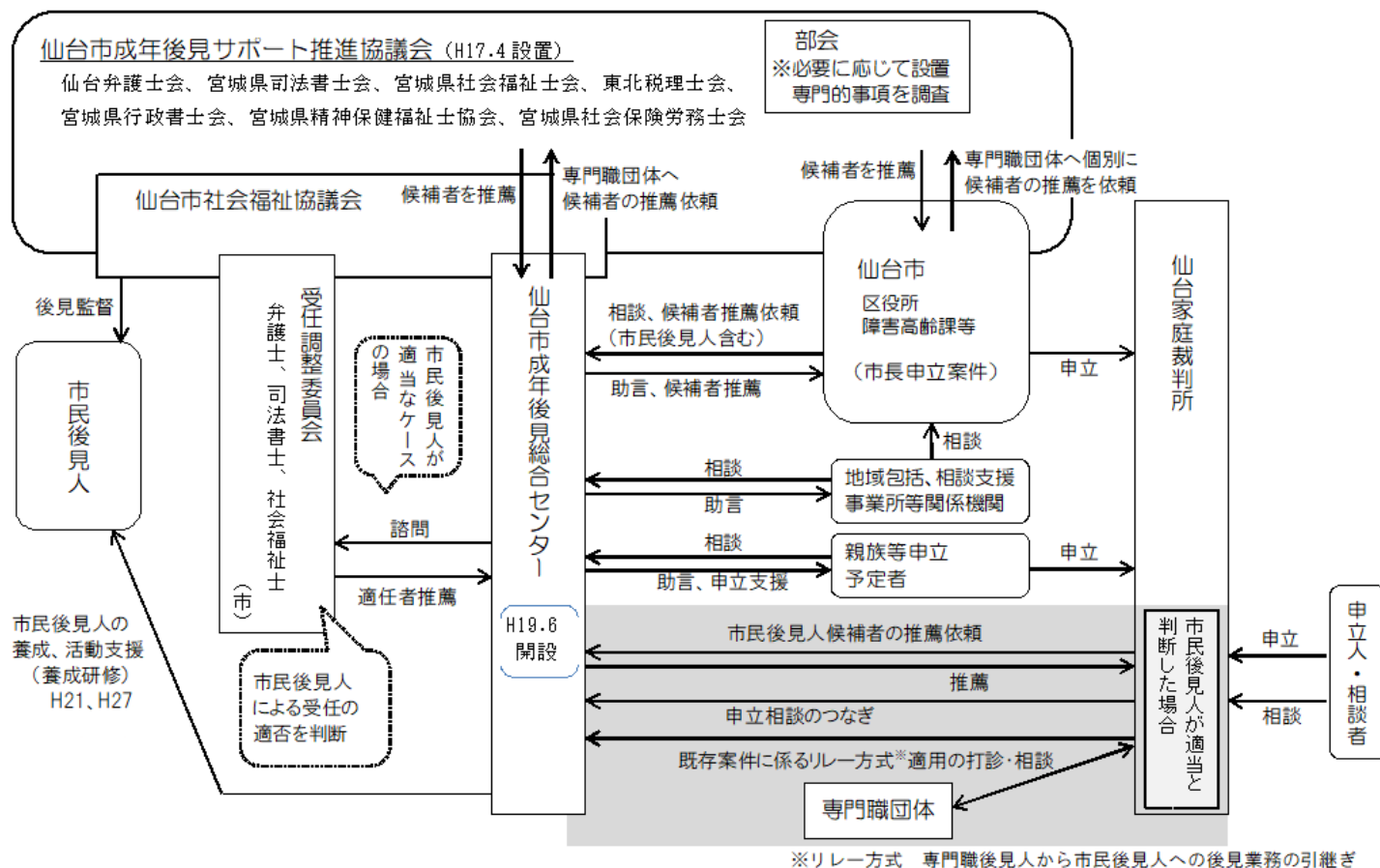
高齢者・障害者の権利に関する委員会（仙台弁護士会）
成年後見センター・リーガルサポート宮城支部（宮城県司法書士会）
権利擁護センターぱあとなあ宮城（宮城県社会福祉士会）
東北税理士会成年後見支援センター
コスモス成年後見サポートセンター宮城県支部（宮城県行政書士会）
宮城県精神保健福祉士協会
社労士成年後見センターみやぎ（宮城県社会保険労務士会）
NPO法人ぬくもりの里 せんだい・みやぎ成年後見支援ネット
仙台市健康福祉局地域福祉部社会課
社会福祉法人仙台市社会福祉協議会（事務局）

開催状況

第1回	令和元年 7月25日	現状把握、検討すべきテーマの整理
第2回	令和元年 9月26日	権利擁護支援、サポート推進協議会の今後の方向性について
第3回	令和元年11月28日	地域連携ネットワーク、協議会、中核機関について
第4回	令和 2年 1月30日	仙台市の市民後見人制度の現状、今後のあり方について
第5回	令和 2年 3月26日	報告書（案）

2 報告書概要

国基本計画	仙台市の現状と課題	今後の方向性
<p>【目標】 全国どの地域においても必要な人が成年後見制度を利用できるよう、各地域において、権利擁護支援の地域連携ネットワークの構築を図る</p> <p>【地域連携ネットワークの役割】 ・権利擁護支援の必要な人の発見・支援 ・早期の段階からの相談・対応体制の整備 ・意思決定支援・身上保護を重視した後見活動を支援する体制の構築</p> <p>【地域連携ネットワークの基本的仕組み】 ○チーム ・福祉等の関係者と後見人等がチームとなって本人を見守る体制</p> <p>○協議会 ・福祉、法律の専門職団体が協力して個別のチームを支援する合議体</p> <p>○中核機関 ・地域における連携・対応強化の推進役としての役割を担い、専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会等の事務局等、権利擁護支援の地域連携ネットワークのコーディネートを行う機関</p>	<p>○仙台市成年後見サポート推進協議会 ・弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、税理士会、行政書士会、精神保健福祉士協会、社会保険労務士会、仙台市、仙台市社会福祉協議会で構成 ・隔月で会議を開催し、市長申立案件及び各団体の活動報告を行う他、セミナー開催など啓発を実施</p> <p>【課題】 ・定例の会議においては報告に留まり、報告事項以外の活発な議論はほとんどない</p> <p>○仙台市成年後見総合センター ・仙台市社会福祉協議会が設置・運営 ・本人や親族のほか関係機関等からの相談対応、申立手続きへの助言等 ・市民後見人の後見監督業務、後見活動支援等→中核機関の機能を一定程度有する</p> <p>【課題】 ・支援を必要とする人のすべてがセンターを含めた相談窓口へながる体制は整っていない ・中核機関の機能を一定程度備えるが、体制的に整備されていない</p> <p>○市民後見人 ・平成 21 年度、平成 27 年度に養成研修を実施し、計 49 名を養成。延べ 22 名受任</p> <p>【課題】 ・単独受任前提の基準等のため受任が進まない ・助言、支援を行っているが、市社協としての体制は確立していない ・専門職による支援等の仕組みはない</p>	<div data-bbox="1391 256 2128 547" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p>判断能力が十分でない状態でも、それぞれの生活の基盤となる地域で、その人の個性や価値観が尊重され、その人らしい生活をおくることができるよう、成年後見制度を含めた「意思決定支援」と「権利擁護支援」の体制づくりを進めていく必要がある。このためには、地域連携ネットワークの構築及び中核機関設置は有用であり、また、市民後見人の活躍が期待される。</p></div> <p>○権利擁護支援体制の構築に向けた新たな方向性 ・意思決定支援の充実 ・権利擁護支援体制の構築 ・仙台市成年後見サポート推進協議会が地域連携ネットワークの中で役割を果たすための変革を目指す</p> <p>○地域連携ネットワーク・中核機関 現在ある機能をどう生かすかを検討し、機能の充実と拡充へ向け段階的な整備計画を立てていく ・実動的な機能も備えた協議会機能 ・権利擁護支援体制の構築に向けた協議会構成 ・権利擁護支援全体の進行管理を行う中核機関機能 ・親族後見人への支援 ・家庭裁判所との情報共有、連携 ・官民協働での取り組み</p> <p>○市民後見人の今後のあり方 ・専門職の協力を得た柔軟な市民後見人の活用及び支援 ・迅速かつ本人にとってメリットのある候補者の選考 ・信頼性の担保及び本人にとってメリットのある支援を行うための後見監督支援 ・候補者、受任終了者を含めた後見活動以外の市民後見人の活用</p>

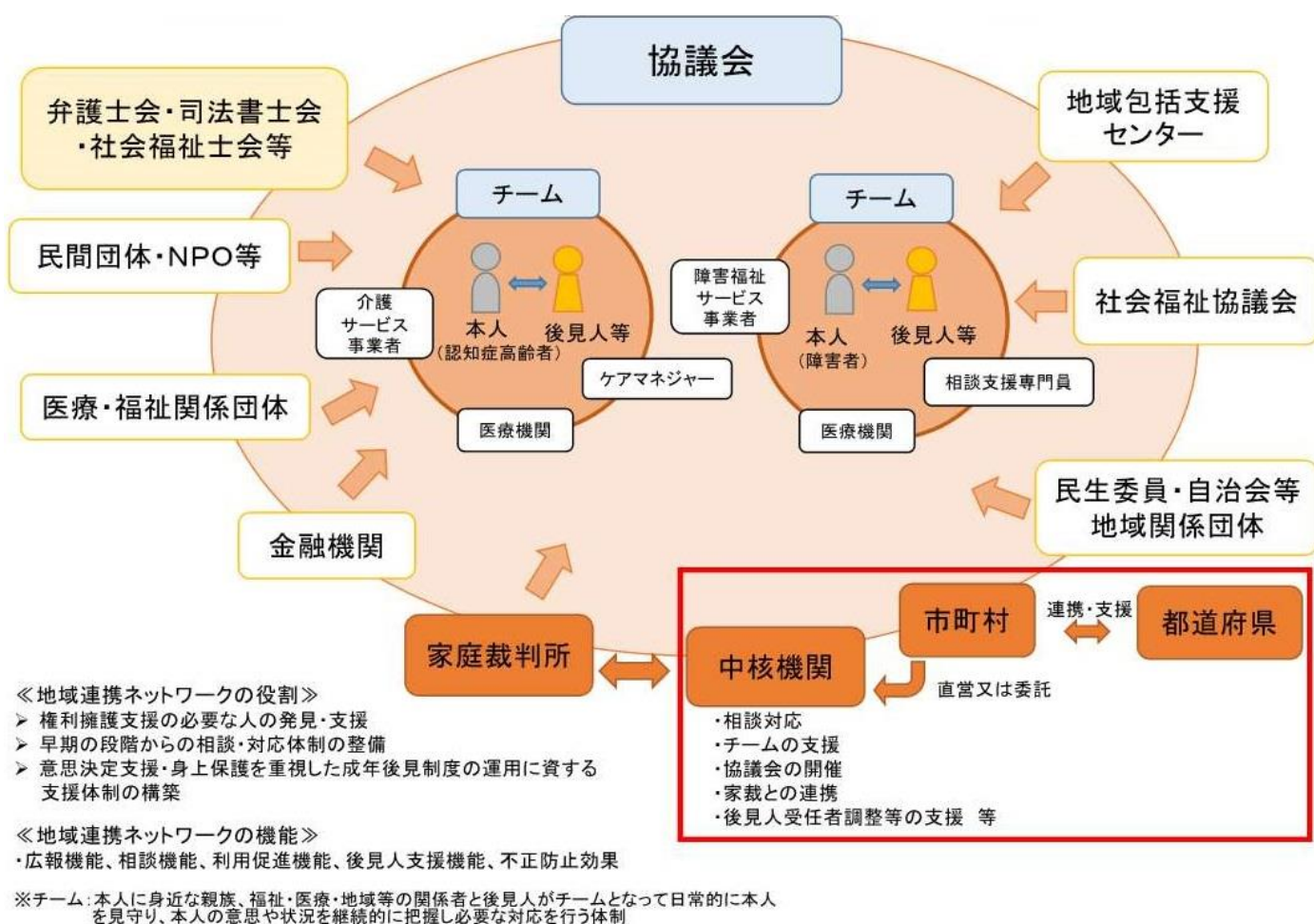


仙台市成年後見サポート推進協議会

- (構成) 1 ページ記載の構成による。事務局は仙台市社会福祉協議会
- (会議) 隔月開催。各団体より数名、及び市役所関係部署及び区役所障害高齢課から市長申立担当者が出席
- (会議の内容) 市長申立案件の進捗状況等の報告、日常生活自立支援事業の実施状況の報告、各団体の活動についての情報交換等。また、必要に応じて部会を設置し、専門的な事項について調査等を行う。
- (他活動)
 - ・一般市民、福祉関係者等を対象とした成年後見セミナーを年1回開催
 - ・市民後見活動事例集の発行 (H18、H19、H24に計3回発行)

仙台市成年後見総合センター

- (設置) 仙台市社会福祉協議会が設置運営。仙台市の補助事業。
- (業務) 制度利用の相談、申立支援／仙台市成年後見サポート推進協議会の運営
 市民後見人の養成、活動支援／広報・啓発／調査・研究
- (体制) 権利擁護センター職員が兼務。相談員2名はNPO法人に委託



■地域連携ネットワーク

全国どの地域においても、必要な人が、本人らしい生活を守るための制度として成年後見制度を利用できるよう、各地域における相談窓口を整備するとともに、権利擁護支援の必要な人を発見し、適切に必要な支援につなげる地域連携の仕組み。「チーム」「協議会」「中核機関」を構成要素とする。

■チーム

協力して日常的に本人を見守り、本人の意思や状況を継続的に把握し、必要な対応を行う仕組み。

■協議会

後見等開始の前後を問わず、「チーム」に対し法律・福祉の専門職団体や関係機関が必要な支援を行えるよう、各地域において、専門職団体や関係機関が連携体制を強化し、各専門職団体や各関係機関が自発的に協力する体制作りを進める合議体。中核機関が事務局機能を担う。

■中核機関

専門職による専門的助言等の支援の確保や、協議会の事務局など、地域連携ネットワークのコーディネートを担う機関。様々なケースに対応できる法律・福祉等の専門知識や、地域の専門職や幅広い関係者との信頼関係を維持発展させ、円滑に協力を得るノウハウ等を段階的に蓄積しつつ、地域における連携・対応強化を継続的に推進していく役割を担うことが求められる。